

女性活躍推進事業 【佐賀県唐津市】

個別事業費	413 千円
交付金額	173 千円

地域の実情と課題

【実情】
 ▶デジタル分野は成長分野と言われているが、デジタル人材の需要の高まりについて、市内の状況は把握できていない。
 ▶育児や介護等を女性が担う事が多く、女性がデジタルスキルを習得することは、時間的・経済的に容易ではない。

【課題】
 ▶デジタルスキルを習得するための時間的・経済的障壁の解消
 ▶柔軟な働き方ができるデジタルを活用した就業に近づけるため、デジタルスキル習得を目的とした講座を開催する等の支援

事業の特徴

就職・再就職を希望する女性を対象にデジタルスキルの習得を目的としたデジタルマーケティング講座を開催することにより、育児や介護などのライフステージや生活スタイルに応じた柔軟な働き方が可能となり、女性の就労機会の創出にもつながる。

事業の効果

定員を超える多くの応募があり、可能な範囲で対応した（16名受講）。受講者の年齢層も20代～50代くらいと幅広く、年齢に関わらず、就労のためにデジタルスキルを習得したい女性のニーズがあることが分かった。受講後アンケートで、実用的なデジタル技術を学んだことで就労に役立てたい意欲の高まりが感じられた。

2か月後アンケート（回答率31%）では、回答者の6割が受講後に求職活動を行い、現在も活動中と回答。その他は職業訓練中や個人で仕事を始めた（または準備中）と回答した。

実際の求職活動へのきっかけづくりができたと考える。

目的・目標

【目的】
 女性のデジタル分野での活躍を推進するため、デジタルスキルの習得を目指した女性対象の講座を開催し、デジタルを活用した就業に結び付けることで、女性の活躍を支援する。

【目標】
 市内在住の就職・再就職を目指す女性（10人程度）を対象に、デジタルスキルの習得を目指した講座を2回程度開催する。
 ▶16名受講（第1回16名、第2回15名参加）

連携団体

▶唐津市男女共同参画推進協議会

- ・男女センター：佐賀県男女共同参画センター（アバンセ）
- ・経済団体：唐津市商工会議所 ・農林水産団体：唐津農業協同組合
- ・金融機関：唐津信用金庫 ・社会福祉法人：唐津市社会福祉協議会
- ・教育機関：西九州大学、唐津市小中学校校長会、唐津市公民館連合会、佐賀県私立幼稚園・認定こども園連合会唐津支部
- ・女性人材バンク等 委員数15人

今後の課題

講座終了後に、デジタル関連の求人情報や市内企業の合同就職説明会の開催情報等を提供したが、受講者への2か月後アンケート（回答率31%）では、大半の人が提供した求人情報に「目を通した」と回答したものの、その全員が「気になる求人はなかった」と回答している。

デジタル活用技術は、多くの職場で役立つと思われるため、提供する求人情報の幅を広げるなど、求職者とのマッチングを進めることが、今後の課題である。

事業の概要

個別事業名	実施内容	事業目標(アウトプット・アウトカム)	実施時期													
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
女性活躍推進事業 (デジタル活用講座)	就職・再就職を目指す女性のためのデジタル活用講座	デジタル活用講座参加人数10人(アウトプット)				連携体制の構成団体に対し事業実施に向けた意見聴取を実施					入札、契約 事業周知、募集			セミナー開催(全2回)		アンケート結果などによる事業評価の実施 事業完了

デジタル活用講座

・市内在住で就職活動中の女性(16名)を対象に、ビジネスメールのマナーからCanvaや生成AIの活用方法などの講座を実施した。実際にパソコンを使用し、対面で行った。

第1回講座

開催日時: 令和7年1月23日 10:00~15:50

参加者: 16名

第2回講座

開催日時: 令和7年1月24日 10:00~15:50

参加者: 15名

